

ためのツールとして作成してい界をわかりやすく理解いただくの内容や、その果たす役割.成の内容は、まままは多くの方々に事業 者等の活動を通して、様々な主ンター」という。)の指定管理コロジーセンター。以下、「セ を目指して、事業運営を行って 体とのパートナーシップにより コロジーセンター。以下、「セ市環境保全活動センター(京エ 立されました。協会は現在、京う。)は、2001年2月に設 活動協会(以下、「協会」とい 都市の環境学習施設である京都 「持続可能な地域社会の実現」

# 京都市環境保全活動推進協会2017年度 公益財団法人京都市環境保全





日~2018年3月31日)の事業を中心 に、過年度からの継続的な事業や次 年度に向けた事業、将来の見通し・ 予定などについて記載しています。 ●発行日 2018 年 9 月

公益財団法人

●発行 公益財団法人

京都市環境保全活動推進協会

### 次 CONTENTS

協会の概要	3
理事長メッセージ	5
2017年事業実績	7
沿革	9
<b>環境学習・環境保全活動事業</b> 環境保全に関する活動のための施設提供 情報収集及び提供	10 13
各種講座や講演会の企画と実施 環境ボランティアの育成	15 19
環境保全活動に関わる人材の育成	21
海外との交流 大学生の環境活動支援	22
地域環境活動支援事業 エコ学区に係る学習会等支援・ 市民協働発電制度地域コミュニティ版支援 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23
<b>国際事業</b> 国際事業 ·······	25
<b>その他事業</b> 出前講座・講師派遣事業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	27 29
広報	32
中長期計画	33
作業部会・パートナーの声	35
事業運営体制	36
2017年度まとめ・京都宣言	37
インフォメーション	38

# 持続可能な地域社会の実現」を目指して





# 協会の概要

地域社会づくりに寄与する 環境に配慮した市民の 主的な行動による

目的に設立された法人です る地域社会づくりに寄与することを に配慮した市民の自主的な行動によ 全活動を推進することにより、環境 教育機関と連携を強め、広く環境保 を実現するため、市民・事業者・行政・ 素社会·循環型社会·自然共生社会) 推進協会は、持続可能な社会(低炭 公益財団法人京都市環境保全活動

行政・教育機関とのパー 設の管理運営等を、 携、支援、環境保全活動に関する施 環境意識の向上のための国際的な連 の市民、事業者等との連携、支援、 教育及び人材育成、環境保全のため 環境保全に関する調査、研究、環境 識の普及、啓発、環境情報の発信、この目的の達成のために、環境意 プに基づき行ってまいります。 市民・事業者



# ミッション

活動に参加・参画する人を増やし、 持続可能な地域社会を築くための 人と人、様々な団体をつなげる。

付ける支援をします。 自主的に活動を展開できるスキルを身に 境保全活動を始めるベースを身に付けた 人を増やし、実際に活動の場を提供し、 ●私たちは、環境ボランティアを始めと 人材育成講座を中心に展開し、 環

多くの人材が自主的に活動を展開し、個業者、行政、教育機関との連携を密にし、 します 京都を中心とした地域社会、 人や団体の活動の輪を拡げることを支援 ・私たちは、 活動する場が増えるよう N G O 事

ため、 ●私たちは、多くの場所で環境保全活動 で展開されていくようなプログラムを開 たな環境保全活動を充実したものにする ●私たちは、 育成した人材が携え、様々な場所 様々な場所で展開される新

ウハウ、成果を国内外に発信します。援、活動の場創り、ソフト開発で得たノ が展開されていくために、 人材育成• 支

くの環境人材を輩出しています。 加・参画する人の輪を広げ、 ①京都における環境保全活動に参

ラムなどのソフト開発と普及の役割 ③活動に活用される環境教育プログ を担っています。 携を密にし、各主体を有機的に結び O、 事業者、 ②京都を中心とした地域社会、NG つける「ハブ」になります 行政、教育機関との連

環境保全活動の推進に働きかけられ 世界に発信し、国際的にも環境教育・ る存在になります ④私たちの活動の成果やノウハウを

## 6 つの方向性

②パートナーシップをこれまで以上に ①地域社会との連携を深める

環境学習•環境保全活動支援事業

京都市の環境学習施設「京(みやこ)エコロジー

センター」の指定管理業務を行い、様々な 環

地域環境活動支援事業

京都市の「エコ学区に係る学習会等支援業務」を 受託し、地域コミュニティの相談窓口「エコ学区

境学習プログラムを展開しています。

サポートセンター」を運営しています

(④京都の環境保全活動・環境教育の

⑤環境学習ツール・

⑥発信力の強化

プログラム開発力の強化

# ビジョン

## 毎年多

### 国際事業

これまでの事業で積み重ねたノウハウを、海外 での環境保全活動推進に役立てるため、研修受 け入れや技術移転を行っています。

### 講師派遣事業

### その他事業

環境学習施設運営やボランティア制度構築をご検討中の方々向けに、 運営ノウハウの提供や制度設計のコンサルテーションを行います。

# |私たち一人ひとりに何ができるか」を考える

2017年は京都議定書誕生20 炭素・循環型社会・自然共生社 周年の記念すべき年でした。 催を記念して設置された施設で み条約第3回締約国会議)の開 たCOP3(国連気候変動枠組 ターの運営です。 大きな柱が京エコロジーセン 取組を行っています。その中の 会)を実現するために、様々な 協会は、持続可能な社会(低 997年に京都市で開催され センターは、

発冊子の発行などを実施しまし るイベントや企画展の開催、 な暮らしや社会の在り方に関す は地球温暖化の防止や持続可能 これに合わせて、 センターで

=

bd -

①②「京エコロジーセンター」開館15周年&アースデイの様子 ③④⑤京都議定書誕生20周年記念展

な視点~」を開催し ム「豊かな暮らしと地球環境 ベントとしては、シンポジウ サスティナブル社会への新た センターの開館15周年記念イ 地球温暖

りました。

ら考える、地球温暖化問題な

環境京都会議20 年を記念して開催された「地球

化対策の新しい国際ルールであ 既存の考え方や現在の延長では 況の理解とその解決策について 地球環境問題と世界や日本の状 る「パリ協定」の発効を踏まえ なく、環境制約や未来の視点か

> ても、紹介を行いました。 構築を目指す京都宣言」につい された「持続可能な都市文明の として参画し、この会議で宣言

理解を深める展示を行 を開催し、COP3で議論され 都議定書誕生20周年記念展~」 で取り組もう地球温暖化防止! る緩和策・適応策等について、 あるパリ協定、気候変動に対す たことや、その後の国際合意で ~」と「世界の人々の暮らしか 京都議定書誕生20周年記念展

京都議定書誕生20周

ができるのかを考える場をつく ら考え、私たち一人ひとりに何 企画展示では、「世界 いました。 取組を続けていきたいと思いま 社会の実現を目指して、地道な ません。これからも持続可能な 多くの関係性があり、どちらか とは決して言えない状況です。 環境問題への社会の関心が高い 内外の施設に配布を行いました。 止策等について紹介し、京都市 都宣言、家庭でできる温暖化防 一方だけを解決することはでき しかし、社会課題と環境問題は る温室効果ガス排出の推移や京 社会には様々な課題があり、 啓発冊子には、京都市におけ

また、



京都議定書誕生 持続可能な社 実現を目指して 会の 周





国際事業

# 理事長メッセー

2017」において、パリ協定が掲げる記念して開催された「地球環境京都会議 今世紀後半の温室効果ガスの実質排出ゼ の構築を目指す京都宣言」が発表された。 ロの実現にむけて「持続可能な都市文明

昨年の12月に京都議定書誕生20周年を

との共生やライフスタイルの転換を 動による影響への適応策が十分に進 当協会としては、 な項目が挙げられている中で、 自治が実現している。などの具体的 ムの高度化などを描いてみた。特に エネルギーの推進や都市交通システ イラストの真ん中に置き、 んでいる。⑤都市によるエネルギ ③の持続可能

### 京都宣言の実現に向けて

を構築する 人れたいと思っている。

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

理事長 高月 紘

私

### 協会が取組む主な目標



現している。②市民の価値観やライフス2050年には、①自然との共生が実

社会を構築する「担い手」が育成されて

努力を重ねたい

力ながら、京都宣言の実現に向けて

ルの転換が進んでいる。

③持続可能

が今回のイラストである。

都市のあるべき姿をイメージ化したものこの時、提示された2050年の世界の

境を未来に引き継いでいくため、

私 環

化対策を促進し、

恵み豊かな地球 地球規模での

れにせよ、

「担い手」

の育成に力を

たち一人ひとりがこの

「京都宣言」

の理念を踏まえた取り組みを実践

ていく必要があります。















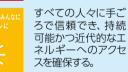


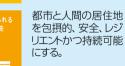






すべての人々に包摂 的かつ公平で質の高 い教育を提供し、生涯 学習の機会を促進す







持続可能な消費と生 産のパターンを確保



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急 対策を取る。

いる。④技術革新と同時に、



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能 な形で利用する。



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、 森林の持続可能な管理、砂 漠化への対処、土 地劣化の 阻止および逆転、ならびに生 物多様性損失の阻止を図る。



持続可能な開発に向 けて実施手段を強化 し、グローバル・パー トナーシップを活性化 する。

2050年の世界の都市のあるべき姿

# ています。

水の恵みが明かりを灯してくれる地域の安心安全と皆さんの笑顔に

環境教

育

 $\mathcal{O}$ 

京都から世界

拡がる

創エネと地域シンボルへの ジプログラム「地域で作る 区)で、エコ学区チャレン 市原野学区(京都市左京

水の力で電気を作ろう

させて頂きました。 な自然エネルギ 銭箱の上部に6つの柔らか り込み、そこから境内の賽 の景観にもとても配慮され 新たに木材で作成され神社 りが無事に灯りました。 れた電気をバッテリ た物になりました。 ED電球の点灯式にご協力 ーによる灯 発電さ 水路も 一に取

を実施しました。

どもとおとなで力を合わせ 勉強を行い、参加された子 電気や水力発電についての

て発電機を製作して頂きま

を予定されています。また、 の際に神社のライトアップ 成した水車を利用して行事 市原野学区では今後、 策にも活用を考えられ の防犯や夜間の安全対 完

①水車が回ると歓声があがった ②水車の制作には子どもたちも参加 ③神社の社殿で全体

らいました。

完成し

た小水力発電機を使ったL

を楽しみながら体験しても

会場に様々な発電機を準 まずは発電すること

の説明を受ける参加者
④市原野学区の大神宮社の境内を流れる水路を利用

されることを願っ された電気を更に増や も再生可能で環境配慮 の皆さまが、これから 市原野学区

けでなく、

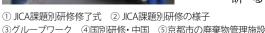












# 100名を超えました~海外から研修員の受入が

きた経験やノウハウを伝え 人々や団体と一緒に環境教 京都で当協会が培って 環境保全活動を拡げ 世界のより多くの 海外へ職員を専 京都にとどま いま 際協力機構 数が18ヶ国・ た海外からの研修事業です J I C A

育 •

ていく取組を行って

らず、

当協会は、

訪日研修、 の根技術協力事業における 課題別研修・日系研修、 り受託している国別研修 えました(独立行政法人国 もって、これまでの受入人 2017年度の受入を 協会独自での 9名を数 ょ



修受入の合計)

門家として派遣することだ

海外からの研修

年度から始め

るために、



SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。 SDGsは 2015年 9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030アジェンダ」にて記載されている、国連加盟193か国が2016年~2030 年の15年間で達成するために掲げた目標です。

### 学習会 ブース出展 6000 連続学習会 担い手セミナー 5000 4000 3000 2000 1000 2014 2015 2016 2017

### ■地域環境活動に参加された人数

	学習	習会	ブース出展		連続学習会		担い手セミナー			
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数計	参加人数計
2013	22	778	4	224	_	_	_	_	26	1,002
2014	22	559	16	1,017	30	530	_	_	68	2,106
2015	33	1,109	13	1,407	13	163	_	_	59	2,679
2016	19	1,080	14	1,923	27	350	3	79	63	3,432
2017	36	1,993	20	2,556	34	544	3	61	93	5,154

持続可能な組織経営を目指して

組織経営に向け、新たな事業展 大半を占めますが、 連の業務等の京都市受託収入が 的としない公益財団法人とし かることを目的とし、営利を目 現状では、京エコロジーセン 協会は、社会公共の利益をは 事業実施しています。 指定管理費や、エコ学区関

### ■正味財産増減の状況

			(単位:千円)
事業年度	2015	2016	2017
経常収益	187,611	208,496	208,179
経常費用	177,530	220,836	207,274
経常増減	10,081	-12,340	905
経常外収益	0	0	0
経常外費用	41	0	0
正味財産増減	10,041	-12,340	905
資産合計	161,547	180,215	161,242
負債合計	26,372	57,380	37,501
正味財産	135,175	122,835	123,741

規模でエコ活動の支援を行 うことができました。 の啓発や環境学習プログラ ムを実施することができ、

で学区の皆さんと良好な関 ことができました。これま (222学区)に展開する 2015年度に京都市全体

> 地域課題と環境課題が同時 させた支援を実施してい に解決するよう、 を関連させた提案を行い 区のお悩み解決とエコ活動 2018年度以降は、学 更に発展

から開始した当事業は、2013年度に26学区

係を築くと共に、エコ活動

地域課題の解決につながるエコ活動を提案

## 京都で培った経験で か国を支援

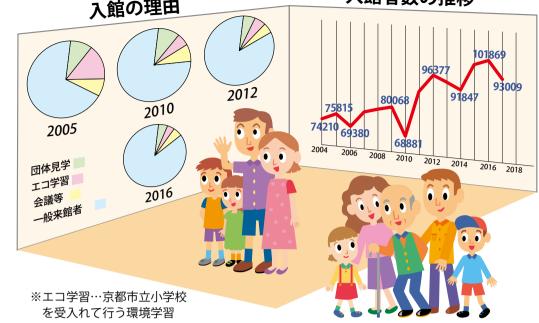
2017年度をもって、延た海外からの研修事業は、 研修員を支援しています 活かすことができるように 実情を考え合わせ、 えるだけではなく、京都や 進のノウハウを一方的に伝 全活動における人材育成や 日本の事例をもとに海外の 仕組みづくり、 ました。環境教育や環境保 べ18ヶ国・109名となり 1年度から始め 市民参画推



### ■海外支援活動国数

	, , ,				
	2013	2014	2015	2016	2017
地域	1	8	10	4	8

### 入館者数の推移 入館の理由



るよう、館内のコンテンツを充実するとともに、団体見学・いただくことができました。今後もさらに足を運んで頂け2012年から6年連続で、9万人を超える方々に入館 啓発イベントなどの広報を強化して参ります。

### ■京エコロジーセンターの目的別入館者数

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
全体入館数	74,210	75,815	69,380	77,979	79,733	80,068	68,881	87,434	96,377	94,546	91,847	100,701	101,869	93,009
団体見学	4,870	7,217	7,050	7,584	8,850	5,911	6,714	6,026	5,468	6,104	6,091	5,859	5,018	5,517
エコ学習	11,318	11,716	10,964	11,236	10,817	5,598	4,013	5,219	5,504	4,949	4,794	3,944	3,961	4,608
会議室等	4,895	5,306	5,454	7,167	6,707	5,280	5,432	4,987	4,807	44,30	4,359	4,894	5,114	5,158
一般来館者	53,127	51,576	45,912	51,992	53,359	63,279	48,705	64,819	71,051	66,335	69,839	74,902	78,083	74,049



## 魅力的な施設を 目指して

ただいている要因の一つ する市民ボランティアが、 境に配慮した暮らしを実践 は、魅力的な環境ボラン 多くの方々に入館してい に入館される市民 自ら環 なってセンター は「京エコサポー を中心に活動し、 新規養成講座を経て、 メイト」は、毎年開催する - 内外でサ ター」と 3年後に 館内

ティアの存在です。

を温かくご案内します

## 環境ボランティア、 過去最多に

センター開館前に養成され 環境ボランティア「エコ して頂いています。 設となることを目指 的な人が介在する施 コモノではなく魅力

を含め、2017年度に新たボランティア1・2期生

センターが単なるハ 環境ボランティアに 支えて頂きました。 せ、総勢19 たに加わった17期生を合わ 1 名 の

### ■環境ボランティア登録者数の推移

	•	•														
登録者	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
エコメイト	85	104	108	85	81	83	82	72	61	55	51	47	42	51	52	55
京エコサポーター	_	_	_	31	51	74	89	89	87	81	94	108	118	122	133	136
合計	85	104	108	116	132	157	171	161	148	136	145	155	160	173	185	191



環境ボランティアの養成講座で、当館の展示物を使用して、環境学習プログラムを実演

### 環境保全に関する 活動のための施設提供



貸出ツール BOX「ちきゅまるのはこ」の1つ。子ども 同士はもちろん、親子や先生と生徒など、大勢で一緒 に楽しく環境学習に取り組める

図書イベント「おはなし会」の様子。蔵書の中から子ど もたちが興味を持ってくれるものを選んで、読み聞かせ

京エコロジーセンター屋上にあるビオトープの様子。「え こそらキッズ」では野菜やお米の栽培を実際に体験しな がら自然を学んでいる

### 協会の歩み(概要)

持続可能な都市文明の 構築を目指す京都宣言 平成29年 平成28年

中期計画策定

公益財団法人京都市 環境保全活動推進協 会に改称(4月1日)

京エコロジーセンター 指定管理者による運営 ・管理開始(第3期)

京エコロジーセンター 指定管理者による運営 •管理開始(第2期)

京エコロジーセンター 指定管理者による運営 •管理開始(第1期)

京エコロジーセンター の運営開始(4月)

財団法人京都市環境 事業協会設立(2月)

平成26年

平成24年

京エコロジーセンター開館10周年(4月21日)

→2015年度事業プロジェクト到達点を明記 改正京都市地球温暖化対策条例施行(4月1日) →温室効果ガス総排出量の削減目標を数値化 2020年25%削減、2030年40%削減(1990年比)

京エコロジーセンターの

建設工事着工。 環境学習・エコロジーセンター(仮称) 事業検討委員会・企画委員会を設置 →市民·各種団体·NPO·事業者·教育 関係者・行政で構成現在:事業運営委員会)

平成7年

### 京エコロジーセンターの歩み(概要)

京エコロジーセンターの年間来館者数が 2年連続10万人を達成(3月26日)

京エコロジーセンターの年間の来館者が 初めて10万人を達成(3月28日) 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議に

京エコロジーセンターの開館以来の 来館が100万人を達成(7月18日)

京エコロジーセンター第2期中長期計画策定(3月)

京都議定書発効(2月16日) 京都市地球温暖化対策条例施行(4月1日) 京エコロジーセンター中長期計画を策定

京エコロジーセンター開館(4月)

環境ボランティア養成を開始(9月)

環境学習・エコロジーセンター 基本計画を策定

環境学習・エコロジーセンター(仮称) 基本構想策定懇話会を設置

国連気候変動枠組条約第3回締約国会議 (COP3 161カ国参加)→京都議定書を採択

新京都市環境管理計画策定 → COP 記念センター構想

国連気候変動枠組条約 第1回締約国会議(COP1 ベルリン)

京都市一般廃棄物処理基本構想策定 →ごみ問題の学習拠点施設の必要性 を位置づけ







夏から「世界で取り組もう地球

年度は地球環境京都会議(KY

+20) の開催に合わせ、

計7件を開催しました。

。特に今

開催期間

7月7日~8月29日

7月22日~1月14日

10月25日~11月8日

11月1日~1月14日

11月14日~12月13日

1月23日~2月2日

2月6日~3月31日

共同主催型企画展示3件

主催の企画展示

### 自然や環境を体感できる道具を無料で貸し出し

### 何が入っているかな? わくわく どきどき 貸し出しツールBOX「ちきゅまるのはこ」

明書を読み、来館者が解説 者を通さずに環境に対する

観察道具等)を遊び方の説

ているツ

ル(体験型展示・ 箱の中に入っ

OXとは、

しました。

貸し出り

しツ

まるのはこ」を新たに設置 出しツールBOX「ちきゅ

1階エントランスに貸し

クごみを分ける体験から海 琴引浜の砂からプラスチッ 学ぶことが出来るものや して旬の食べものについて 中身は買い物ゲ ムを通

対象として製作しました。

中学年・親子を

がら学ぶツー

ルです。

知識やエコなどを体験しな

のごみについて学ぶことが



新たに設置した貸し出しツー ル BOX「ちきゅまるのはこ」

1508 000 00 C

いろいろ観察

手回し発電のセットでは、自分で

電気を作る体験ができる

境のテーマについて学ぶこ とが出来る内容となってい 出来るものなど、 た、 色々な環

境をテーマにしたカルタや なっています ガネ等がセットされた箱も 生きものを観察できる虫メ 他にも木のおもちゃや環 むことが出来る内容に ルが入っているものも エコセンをもっと楽 展示を楽しむための 0

すごろくもあり、 ルになっています る来館者にも楽しめるツ た来館者も、くり返し訪れ 初めて来

Ō

### 森林を身近に感じて、地球温暖化を考える

### 企画展「もり森もく木りん林展 ~森林の川上から川下へ~」を開催

かということをパネルで紹 になるまでの過程も見て頂 な仕事と人が関わっている に辿り着くまでにどのよう 一本の木から木製品

> 知らなかった」などの 都にこんなに木があると

おいて、 催しました。今回の企画展 をバージョンアップして開一昨年度から続くシリーズ 関する企画展を行いました。 球温暖化と森林の関わりに では、木が森林から暮らし 関係団体に協力を頂き、 から3月31日(土)の期間に 京都の森林・林業

8年2月6日(火) 況が知 から、 の森林の話などをしたこと 時計を作りました。ワ ショップの始まりに京都市 デザインし、 の杉板を使った木の時計づ 利用促進に繋がるように工 感じてもらうことで木材の 天しました。また、関連イ しました。好きな形や色に ントでは、京都市内産材 「京都市の森林の れて良かった」 -クショップを開催 オリジナルの



市内産杉板を使って「木の時計づくりワークショップ」を開催しました



までをパネル展示で紹介



木が私たちに暮らしに辿り着く 京都産の木材の製品を展示して、森林 を身近に感じる工夫を行いました

向性を説明し、

委員およびボラ

リニューアルに向けた方

ら考える、地球温暖化問題

事業名 (共催団体等)

「第33回京都まちとみどり写真コンクール展示会」

「世界の人々の暮らしから考える、地球温暖化

問題~京都議定書誕生 20 周年記念展~」

「平成29年度『まちかど生きもの観察記』

(京都市環境政策局環境企画部環境管理課)

「平成28年度(第14回)京都環境賞受賞者の

(京都市環境政策局環境企画部環境管理課)

「世界で取り組もう地球温暖化防止

~京都議定書誕生20周年記念展~」

京都市建設局みどり政策推進室)

「2018年 環境カレンダー原画展」

京都議定書誕生20周年記

リニューアル内容を検討しまし ました。それらの意見も踏まえ ンティアからも意見をいただき

 $\sim$ 

の啓発を行いました。

公募型企画展

公募型企画展

公募型企画展

受賞作品展 |

「もり森もく木りん林展

~森林の川上から川下へ~」

活動紹介パネル展示」

(京都府都市計画協会

木のおもちゃひろばは、

52名の利用が

示を通して地球温暖化防止

念展~」を開催し、

. 企画展

た計画の資料を作成しました。

また、

リニューアルに向け

の後、

事業運営委員会及びボラ

催

秋から

ア全体ミーティングにお

は

「世界の人々の暮ら しました。また、 月に6施設を視察しました。

そ

誕生20周年記念展~」

を歴

京都議定書

展示リニューアルに向け、

### 団体見学が182件5517 様々な団体の見学受け入れを行 いました。年間受け入れ件数は、 したセンター 京都市立小学校を対象に 08名、合わせて345件 25名の受け 学習が163件 入れを行 た。

は16% (647名)増加しましは9% (499名)、エコ学習 京都市近隣の小学校や旅行会社 見学者数の増加を図るために、 ました。昨年と比べて団体見学 団体見学を広く広報

団体見学は、増加。学校や旅行社にチラシ配布

団体見学では、

国内外から

環境の保全に関する資料及び装置の を対象にした団体見学チラ 展 示

> 間では、 用が22%、  $\widehat{\stackrel{2}{0}}$ たまたま (来館した) が14%と 得ました。来館目的に関する設 3月実施)で244件の回答を それぞれ配布しました。 関する設問では、 う結果になりま 来館者アンケー 17年8月~20 木のおもちゃひろば利 イベント参加が21%、 トでは、 8年 年間

> > ない」が10%、「来館したくない %という結果になりました。 が 88 %、 「どちらでも

> > > 情報の収集及び提供環境の保全に関する

かんきょう図書コー









イベント 新たに追加しました。 出冊数が2334冊ありました を高める機会を提供しました。 して、 また、 年間で貸出人数680名、 年間で45 市民に環境について関心 12 月 3 日 「絵本読み聞かせ 1冊の資料を 貸

参加がありました。12月14日 はなし会』」を実施し、 (木) には蔵書点検作業を実施 (日) に図書 人の 『お

しました



自由に利用できるかんきょう図書コーナー 環境に関する蔵書が 7,000 冊以上ある

# ムページ等による情報発信

年6回、 ルマガジン、外部のイベント情したほか、ホームページやメー センター館内や市内各所に配架 報媒体等を活用して情報発信を イベント案内チラシを隔月で 約4200部発行し、

くイベント情報や環境に関するを受け、原稿を作成する等、広ら環境に関する記事の執筆依頼 育旅行冊子やフリーペーパー 計9件行いました。その他、 教

しました。プレスリ

の精査や収集をし、 のリニューアルに向けて、 ました。さらに、ホームページ と竹田駅のステップ広告を行い 市営地下鉄1駅25面の電照看板 情報の発信を行いました。また、

発行日

6月20日

7月20日

9月20日

1月20日

1月20日

3月20日

発行号

No.49

(7月号)

No.50

(8月号)

No.51

(10月号)

No.52

(12月号)

No.53

(2月号)

(4月号)

# 環境副読本の発行

に設置、および環境関連団体等 月に6500部を印刷し、 の啓発冊子を作成しました。 都議定書誕生20周年」がテー

に合わせ、「地球温暖化防止」「京を目的に、KYOTO+20開催

KYOTO+20 開催に合わせた啓発冊子

度より500部増)発行し、

市民の環境意識を高めること

啓発冊子の発行

京エコロジーセンターHPへの マに学習する際に活用されます の時間や各教科内で環境をテ おこないました。総合的な学習 関連機関・協力団体等に配布を 平成30年度版環境副読本を作 京都市内の全小中学校や

の募集を行い、活用事例の紹介 活用を増やすため、 動画を見ることができるように の補助教材としてインタビュー 副読本のダウンロードや、 掲載を行い、 上で掲載。 平成30年度版環境 環境副読本の



小・中学校の環境副読本

0部を印刷

すようにしました。

関連付け、読者にセン

への来館や利用を促

特集2

探してみよう 考えよう 土から生まれる オーガニック

読書の秋、到来! 手づくりブックカバー で本をおしゃれに

やってみよう、 "わが家の味"味噌づくり

作ってみよう 調味料&加工品

にチャレンジ!

楽しみ方いろいろ ハーブのある ゆたかな暮らし

水だけでもできる!

簡単でかわいい

キッチン菜園

(季刊誌えこせん発行号と特集内容)

特集1

地球環境デザイン研究所

代表 太田航平氏

ハニールネッサンス

花背 WARA デザイナー 藤井桃子氏

住職 西川玄房氏

ecotone

米川安寿氏

小川治兵衛氏

東林院

銘木師

中川典子氏

# 季刊誌「えこせん」を隔月で年6回発行

ました。季刊誌のコンセプト「京 年6回、毎号5500部(昨年 季刊誌『えこせん』を隔月で 内各所に配架し セ ライフを紹介するなど、 ら家庭で取り組めるエコ 意識し、様々な切り口か い誌面づくり

で実施するイベントやか んきょう図書コー また、特集とセンタ いました。

の読者層である親子層や女性を

くらしと人とエコ」やメイン

えこせん

京のくらしと人とエコを紹介する、 季刊誌「えこせん」





### 情報の収集及び提供



季刊誌制作検討の様子。収集した情報を整理して、 わかりやすく伝えるための打合せをしている

エコロジー情報を発信するための試行錯誤の様子。子どもか ら大人まで視覚的に伝わるよう、表現を意識している

協会スタッフによる季刊誌撮影の様子。読む人が興味 をもってもらえるように、身近で起きている最新情報 を取り入れるようにしている



「豊かな暮らしと地球環境〜サスティナブ 社会の新たな視点〜」講演の様子

### 実施件数:46件(うち、大型イベント開催は1件)、参加者数:3,528人

発行日

発行日	事業名	講師	人数
4月29日	京エコロジーセンター 開館 15 周年&アースデイ 記念イベントシンポジウム 「豊かな暮らしと地球環境 〜サスティナブル社会へ の新たな視点〜」	高月紘氏 京エコロジーセンター館長 浅岡美恵氏 NPO法人気候ネットワーク理事長 石田秀輝氏 東北大学名誉教授	93
5月20日	第1回えこそらキッズ		44
5月27日	「日本の木でおもちゃを 作ろう!マウスボカン」	松島洋一氏 木のおもちゃ作家	27
3/3/2/11	「日本の木でおもちゃを 作ろう!メリーゴーランド」	松島洋一氏 木のおもちゃ作家	35
6月7日	映画『0円キッチン』上映会		71
6月10日	第2回えこそらキッズ		25
6月30日	「親子で食べたい!体が喜ぶ 旬の重ね煮クッキング」	小田桂子氏 いんやん倶楽部	17
7月1日	第3回えこそらキッズ		41
7月5日	映画『幸せの経済学』上映会		41
7月22日	映画『アリのままでいたい』 上映会		195
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	第4回えこそらキッズ		31
7月25日	生きもの探偵団		18
7月29日	雲ってなぁ~に?雲を知って、 お天気博士になろう!	一般社団法人日本気象予報士会 関西支部楽しいお天気講座	82
8月2日	キュービックモンスター作るぞ!	多胡歩未 氏(arumitoy)	81
8月3日	エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社CS部	52
8月4日	紙すき体験〜紙パックから 絵はがきづくり〜	宝ホールディングス 株式会社	70
8月5日	第5回えこそらキッズ		40
8月8日	葉っぱや草花でしおりを 作ろう!	名神深草森の会	122
8月20日	子どもクッキング教室 〜自分でつくるカンタンごはん〜	平田早紀子氏 管理栄養士	22
8月26日	第6回えこそらキッズ		36
9月9日	第7回えこそらキッズ		30
9月22日	映画 simplife 上映会		8
9月23日	映画 simplife 上映会		10
9月30日	第8回えこそらキッズ		19
10月9日	発見!いきものの「すごい」 と「ふしぎ」センサーの力	株式会社堀場製作所	11
10月21日	第9回えこそらキッズ		27

퓼미니	サ木へ	1	din <del>cha</del>	/ (34
10月28日	草木染体験 〜自然の色を楽しも	らう!~	青木正明氏 天然色工房 手染メ屋	17
11月5日	カカオ豆から チョコレートを作	:ろう!	Dari K 株式会社	59
11月11日	第10回えこそらキ	・ッズ		25
11月13日	家族と同じレシピで 重ね煮離乳食講座	⁵OK!	小田桂子氏 いんやん倶楽部	29
11月25日	第11回えこそらキ	ッズ		24
12月1日	第12回えこそらキップ	ズグループ①		17
12月1日	第12回えこそらキップ	ズグループ②		24
1月13日	木で作る 離乳食用スプーン	⁄教室	川口なおこ氏 トナリ木エ	23
175131	第13回えこそらキ	・ッズ		33
1月21日	映画「いただきま <sup>*</sup> くる こどもたち」			63
1月27日	第14回えこそらキ	ーッズ		27
1月28日	ていねいに暮らし ~エコ・コミュニティ		今堀洋子氏 追手門学院大学 河合史惠氏 NPO法人トランジション・ジャ パン理事	25
2月4日	おうちで挑戦! My 味噌づくり!		平田早紀子氏 管理栄養士	55
2/344	ていねいに暮らし ~エコ・コミュニティ		畑明宏氏 NHKテレビ講師 ガーデニング研究家・樹木医	20
2月17日	映画「小さな世界 ワンダーランド」			92
2月18日	ていねいに暮らし ~エコ・コミュニティ		伊藤洋志 氏 ナリワイ代表	26
2月25日	発見!体験! ネイチャー ワールド 〜生きものから学ぶ 未来の暮らし〜	京都に大いた。京都には、京都には、京都には、京都には、京都には、京都には、京都には、京都には、	研究所、草木のはちみつ 、株式会社昆虫食の entomo	1,083
3月4日	ていねいに暮らし ~エコ・コミュニティ		小野雅司氏 サイエンズ研究所・アズワンネット ワーク鈴鹿コミュニティ	28
3月 16·17·18日	フリーフリーマー/ 道具編 in エコセ		ひのでやエコライフ研究所	250
3月21日	映画「みつばちマ 大冒険」上映会	アーヤの		188
3月31日	映画「人生フルー	-ツ」上映会		150
	•			



センター屋上にあるビオトープでのイベント「いきもの探偵団」の様子

### 各種講座や講演会の 企画と実施



紙すき体験の様子。企業と連携して環境保全 活動の定着を目指している 木の工作「キュービックモンスター作るぞ!」の様子。 木にふれ、自然環境について考えるきっかけを作っている 旬の食材を利用した料理教室の様子。子どもで もできる簡単クッキングを楽しく学んでいる

地域コミュニティと連携

京都市内の元学区に

### 自然の力を生かして持続可能な暮らし方を考える

### 大型イベント「発見!体験!ネイチャー ワールド生きものから学ぶ未来の暮らし」

「私たちの暮らしになく

とができました。また、

型イベントを開催しました。 恩恵を受けて生活している 験を通して、人間が自然の チの巣を使ったキャンドル あり、薬草づくりやミツバ 企業によるブースや体験が づくり、綿繰りやフェルト ことを実感していただくこ 館内では様々なNPOや

暮らし方について考える」 ことを目的に2月25日(日) 活かしながら、持続可能な る影響を知り、 や、恩恵、人間が与えてい にセンター全館を使った大 てはならない自然のすごさ ルづくりなどの工作体 自然の力を ただける機会となりました。 の生きものや自然に影響を 間の営みがどのように世界 ボルネオの熱帯林まで、 コロジカルフットプリント マイクロプラスチック、エ 都の生物多様性から外来種 与えているのかを知ってい

きものとのつながりについ では、これからの新しい生 除草や環境負荷の少ないタ することができました。 ても知っていただく機会と いる昆虫食、セルロースナ ンパク源として注目されて /ファイバーの紹介ブース ヤギやヒツジによるエコ



「ネイチャーワールド生きものから学ぶ未来の暮らし」 の集合写真



「動物園・標本にふれてみ よう!」の様子

「ヤギ・ヒツジによるエコ除草 およびエサやり体験」の様子

### 野菜や米を育て、収穫してみんなで食べる

### 生きものとのつながりや自然の循環を 実感する「えこそらキッズ」

までお世話をしました。 察し、育った野菜をすべて の種は次の種まきで使って は花を咲かせ、 収穫するのではなく、 から育て、生長の様子を観 栽培時には、できるだけ種 といった活動をしました。 種をつける 部 そ

で野菜やお米の栽培や生き を通して、エコセンの屋上 継続プログラムです。 みんなで食べたり、 を対象とした、年間14回の ングの回に調理して食べる もの観察等を行い、育てた えこそらキッズは、 3年生とその家族の方 収穫したその日に クッキ 年間 命の循環を感じることがで 姿を観察できるだけでなく、 見ることのできない野菜の 生きものの命も育んでいま ナムグリなどが訪れ、他の きます。花にはチョウやハ

暮らしの中での実践に繋げ を作り、発表会をしました。 ることができました。 きるようになるなどといっ 捨てることなく使い切る、 で、 継続して体験的に学ぶこと た変化が見られ、 子どもが料理を残さず食べ して選ぶ、なるべく野菜を 活動の最後には、 買い物の時に旬を意識 毎回の



えこそらキッズ「収穫体験」の様子



えこそらキッズ「クッキング」の様子



「くらしの匠」学習会の様子

### (地域コミュニティとの連携 実施一覧)

した

その他、

立命館大学国際

名の職場体験を受け入れま

いて、

上京中学校の生徒3

レンジ体験」推進事業にお

施する「生き方探求・チャ

京都市教育委員会が実

見中央図書館・桃山地域女

コライフプロジェクト・伏

-和ミュージアム・伏見エ

では、

20名位の地域住民の方と、地球温

各地域で出前講座を行っています。

例え

ば、『くらしの匠』という学習プログラム

学習会」と「ブース出展」の二つがあります

私は主に「かんきょう学習会」を担当し、

です。活動メニューとして、「かんきょう

地域の環境活動を支援するグループ

暖防止のための省エネの大切さ一緒に学び

ます。講義だけでなく〝省エネナビ〟(家

性会と連携した事業を実施

開催日	名 称	会 場	内 容
4月23日	南太秦小学校 春まつり	南太秦小学校 グラウンド	太陽熱温水器 の展示 等
6月28日	安寧学区 くらしの匠・説明会	安寧自治会館	省エネに 関する講義等
7月8日	岩倉明徳学区 おもちゃ交換会	花園町公民館	おもちゃ の交換会
7月16日	板橋学区 板橋まつり	伏見板橋小学校	発電体験 等
7月19日	安寧学区くらしの匠・ 第1回集会	安寧自治会館	省エネに関する 講義等
7月22日	上鳥羽学区 上鳥羽夏の夜市	村山公園	発電体験 等
	松ヶ崎学区夏祭り	松ヶ崎小学校	発電体験 等
7月29日	柊野学区 夏祭り	柊野小学校	発電体験 等
	安朱学区 夏祭り	安朱小学校	発電体験 等
7月30日	久多学区 久多ふるさとまつり	久多の里自然環境 活用センター	発電体験 等
0.05.0	梅逕学区 梅逕夏祭り	元梅逕中学校	発電体験 等
8月5日	楽只学区 楽只まつり	楽只小学校	発電体験 等
8月6日	桃山東学区 桃山東夏祭り	桃山東文化ホール	発電体験 等
0.000	安寧学区くらしの匠・ 第2回集会	元安寧小学校	省エネに関する 講義 等
8月9日	立誠学区 高瀬川夏祭り	元立誠小学校	発電体験 等
8月19日	開智学区 開智夏祭り	元開智小学校	発電体験 等
8月23日	安寧学区くらしの匠・ 第3回集会	元安寧小学校	省エネに関する 講義 等
8月26日	待鳳学区 待鳳まつり	待鳳小学校	発電体験 等
9月3日	太秦学区 ECO フェスタ 2017 UZU まさ	笑顔ランド太秦	発電体験 等

活動を通して、地域の固い絆を感じるとることを心がけて活動しています。

り易い話、および楽しく手軽に実践でき 体験しながら学べます。そこでは、 置して、電気代を節約するための方法を、 庭の消費電力量を測定する機器)を設

分か

共に、多くの学び・気づきがあり、私自身

も勉強になっています。これからも、地域

のみなさんと一緒に、エコの輪を広げて、

続可能な社会を築いていきたいと思います。

開催日	名 称	会場	内 容
州准口	- 17	云 物	N <del>D</del>
10月8日	<ul><li>池田学区</li><li>スポーツフェスティバル</li></ul>	池田小学校	発電体験 等
10月14日	待賢学区 たいけんカーニバル	元待賢小学校	発電体験 等
10月15日	葵学区 葵学区親子まつり	葵小学校	発電体験 等
10月23日	久我学区 くらしの匠・説明会	久我自治連合会館	省エネに 関する講義 等
11月5日	朱雀第二学区 朱雀第二ふれあいまつり	朱雀第二小学校	紙芝居の 読み聞かせ等
11月11日	久我学区くらしの匠・ 第1回集会	久我自治連合会館	省エネに関する 講義等
11月18日	板橋学区 秋のつどい	伏見板橋小学校	発電体験 等
11月19日	小川学区 ふれあいまつり	京都市立 みつば幼稚園	発電体験 等
11月27日	久我学区くらしの匠・ 第2回集会	久我自治連合会館	省エネに関する 講義等
12月2日	銅駝学区 くらしの匠・説明会	藤和シティホームズ 河原町二条AXIS 集会所	省エネに関する 講義等
12月9日	久我学区くらしの匠・ 第3回集会	久我自治連合会館	省エネに関する 講義等
12月10日	金閣学区 焼き芋大会	金閣小学校	発電体験 等
12月16日	銅駝学区くらしの匠・ 第1回集会	藤和シティホームズ 河原町二条AXIS 集会所	省エネに関する 講義等
12月23日	銅駝学区くらしの匠・ 第2回集会	藤和シティホームズ 河原町二条AXIS 集会所	省エネに関する 講義等
1月20日	銅駝学区くらしの匠・ 第3回集会	藤和シティホームズ 河原町二条AXIS 集会所	省エネに関する 講義等
1月21日	滋野学区 新春もちつき大会	京都まなび街 生き方探究館	発電体験 等
1月28日	格致学区 格致区民ふれあい広場	下京雅小学校	発電体験 等

ラムを行

いました。

また、教育機関と連携

学習会等の環境啓発プログ を派遣して、ブース出展や ボランティア延べ106名

地域からエコ活動の輪を

ひろげよう!

ランティアが、環境活動にコメイトを修了した環境ボ 関する知識や経験を生かし 「京エコおこし隊」は、 エ

京エコサポーター 環境ボランティア11期生 高坂 幸利さん

18

の声

# ◇マネジメントの会

ろからエコが実践できるこ

環境を残さないように頑張 子や孫の時代に今より悪い

した暮らし』を伝えていき、

とを伝えたいと思いました。

今後は、先輩方の知識の

20

案内を通して、

身近なとこ

え、来館者の方には、展示てる時にもエコについて考

直して、ものを買う時、

自分自身の暮らし方を見

深さや、楽しそうに活動さ

れている様子を見習いなが

来館者に『環境に配慮

88 /W C	5 7 1 11	-1. A	1 344
開催日	タイトル	対象	人数
4月2日	登録証授与式	・エコメイト ・京エコサポーター	24名
4/7/21	スタートアップの会	・エコメイト	21名
7月2日	ボランティア 全体ミーティング①	・エコメイト ・京エコサポーター	28名
9月10日	中間ふりかえりの会	・エコメイト	21名
12月23日	ボランティア 全体ミーティング②	・エコメイト ・京エコサポーター	29名
	年間ふりかえりの会	・エコメイト	15名
3月25日	修了証授与式	・エコメイト ・京エコサポーター	26名

$\Diamond$	開催日	開催日	タイトル	人数
ボラ	第1回	4月22日	効果的な伝え方を知ろう ~マナー&コミュニケ―ション編~	15名
ン	第2回	5月13日	エコセンの設備を知ろう	20名
テ	第3回	6月17日	エコセン屋上と生物多様性	26名
1	第4回	7月23日	水に関する情報収集	23名
ア	第5回	8月20日	電気に関する情報収集	26名
研	第6回	9月16日	企画の立て方	10名
修	第7回	10月11日	社会見学〜ごみの最終処分地を 見学しよう in 大阪〜	33名
	第8回	11月18日	子どもの来館者対応について	23名
	第9回	1月21日	COP・地球温暖化最新情報	27名

$\Diamond$		開催日	タイトル	人数
ㅗ	第1回	1月7日	エコセン・ボランティアきほんのき	16名
エコメ	第2回	1月20日	環境問題・エコセンの 展示きほんのき	16名
1	第3回	2月3日	環境学習きほんのき	14名
を	第4回	2月17日 18日	環境学習の場をつくり・ まわすきほんのき①②	13名
養成講座	成 第5回	2月20日 24日	実習 オリエンテーション	14名
严座	おり凹	2月26日 ~3月10日	実習期間	29名
	第6回	3月11日	これまでの講座のふりかえり &登録説明会	11名

した。

# ◇ボランティア企画のイベント

کا	開催日	事業名	実施グループ名	人数
だラ	6月11日	分け分け大作戦 〜紙がみ分別ゲーム〜	イベントグループ	96名
/	0/31111	うちごみ相談所	ワーキンググループ	34名
ቮ ሰ	7月27日	エコセン☆夏休み ワクワクひろば①	イベントグループ	36名
ァ ト	8月3日	エコセン☆夏休み ワクワクひろば②	イベントグループ	18名
		うちごみ相談所	ワーキンググループ	19名
ו ל	8月10日	エコセン☆夏休み ワクワクひろば③	イベントグループ	25名
ï	8月11日	ペットボトルで マイ風力発電機を作ろう	エコエネ研究会	61名
<b>/</b>	8月17日	エコセン☆夏休み ワクワクひろば④	イベントグループ	23名
		うちごみ相談所	ワーキンググループ	7名
	8月24日	エコセン☆夏休み ワクワクひろば⑤	イベントグループ	18名
1	10月15日	エコロジーカフェ 〜食育×エコ "おばんざい で食の未来を語ろう"〜①	♪エコロジーカフェ♪ の会	23名
	11月4日	エコロジーカフェ 〜食育×エコ "おばんざい で食の未来を語ろう"〜②	♪エコロジーカフェ♪ の会	17名
	12月1日~ 2月24日	特別展示 Book&POP	図書グループ	
	12月17日	エコロジーカフェ 〜食育×エコ "おばんざい で食の未来を語ろう"〜③	♪エコロジーカフェ♪ の会	10名
		マイエコライトを作ろう	エコエネ研究会	27名
	1月14日	「水みず大作戦〜水の かしこい使い方〜	イベントグループ	77名
	2月10日	エコロジーカフェ〜お茶を 飲みながら、気軽に環境に ついて話そう〜	♪エコロジーカフェ♪ の会	4名
	2月11日	うちごみ相談所	ワーキンググループ	40名



ンティアによる自主企画が 性化をはかるグループ】、そ の他多くのグループが活動 の環境としょコー を行うグループ】、【センター ボラ の活

### 活動には、興味・関心に 然エネルギーに関する研究 実施するグループ】や【自 自主的に活動を展開してい 合わせてグループをつくり、 プ活動は、【環境イベントを く『グループ活動』があり

7年度のグルー が18件でした。 の来館者を対象にした企画 知ってもらう機会にもなり ティアの存在を多くの方に センターで活動するボラン 企画展などの開催を通じて、 活動を展開し、 ボランティアが自主的な したボランティアの イベントや

多様な活動が、センターと して活動の幅を広げること

# o 声

# 環境に配慮した暮らしを伝え、子孫に未来を 新規養成講座を受けて、

関わっていたことを知りま 思いながらも無駄に使って 今まで「もったいない」 いたのものが、環境問題に

### エコメイト18期生 佐々木鶴代さん

# 多様な展開、ボランティア活動の成果発表

センターのボランティア

25件行われ、そのうち一般

## 環境ボランティアの育成

回)実施されました。

ボランティアを対象に、

件(対外的なイベント・催しは18 ティアによる自主企画が年間で25

方のスキルを学ぶ研修を、年間9環境問題に関する最新情報や伝え

回実施しました。

新規エコメイトの募集において

ボランティアの全体ミーティングでのボランティアとのグループワークの様子。今後の活動をみんなでより良くしていく

が新規エコ ト養成講座 を実施しま を行い、応募者に対してエコメイ は、京都市内を中心に幅広く広報 した。その て登録する



ました。

ことになり

を説明する様子

トを行うとともに、

するグループ活動では、ボラン

300

その結果、受付カウンターでのガ ランティアが自主的に活動を展開 員/募集定員)は95%となり、ボ める場を年間7回実施しました。 ボランティア全体の活動意欲を高 イド活動における充足率(応募人 研修や講座を実施活動意欲を高める 事務局全体でボランティアの

環境学習•環境保全活動支援事業



インターンシップ生へ説明している様子

### 海外との交流 大学生の環境活動支援

大学生の環境活動支援 リクナビ2019インターン

り、センターホームページに大その後、当初の業務進行に代わ 募があった学生の内2名が8月 動を開始しましたが、諸事情に シッププレサイトを活用し、応 より辞退することとなりました。 よりセンター内でインターン活

討を行いました。また、損保ジャ ンターン活動の一環として、関 パンCSOラーニング制度のイ 西地区の学生が作成するカレン

が掲載されました。今後は、来事例集」にデジタルサイネージ 館者の利用状況を見ながら必要 ルサイト」の「多言語対応取組 に応じて設置位置の変更等を行

に設置しました。

-ジ(電子案内板)を12月

1階のエントランスに設置した電子案内 板。4か国語で館内を案内している

# 日本語、英語、中国語、韓国語で館内を案内

- 階エントランスにデジタルサ 国外来館

ピック・パラリンピック準備局 内しています ピック・パラリンピック大会に が運営する「2020年オリン 中国語、韓国語の4カ国語で案 な見どころを、日本語、英語、 また、2月には東京都オリン タッチパネルを用い館内の主

向けた多言語対応協議会ポータ

東エコロジーセンター

# 環境保全活動に関わる 考え方、講座で得られる知識を

環境学習プログラムの基本的な どもと関わる大人」を対象に、

践の担い手を育てるために「子

**バップ講座」では、環境教育実** 

を開催しました。

「環境教育リ

ーダースター

ス、「改正FIT法セミナー」

可能エネルギー を目的に「今こそなろう! の普及・啓発を図るため、企画 2017」では、自然エネルギ・ し実践する人材を養成すること 土役」と題して、自然エネルギ・ 「自然エネルギー学校・京都

環境学習•環境保全活動支援事業

00%時代の

**ムく市民に情報提供することを** にわたり開催しました。 ついて学べる連続講座を全4回 に関する国内外の現状や事例に 日的に、近畿経済産業局エネル また、改正FIT法について 対策課の担当者を講師に迎

人材の育成

関わる人材の育成環境保全活動に



### ◇実施プログラム一覧

名称	学区名	実施期間	内容	
京	大宮	H29年1月23日~ H30年3月31日	学習会等で効果的な省エネを学ぶ機会を増やし、エネルギー削減活動を促進する活動に取り組みました。	
エコライ	豊園	H29年8月3日~ H30年2月27日	リメイクで手を動かしモノを活かすワークショップや、家庭でできる省エネに取り組みました。	
京エコライフプログラム	桃山	H29年6月28日~ H30年3月31日	効果的な省エネ方法を学ぶ機会を増や し、エネルギー削減活動を促進する活動に取り組みました。	
フ ム	室町	H29年10月25日~ H30年2月6日	使わなくなった道具を学区内に循環させ、古いものも修理修繕して長く使うことを学びながら、学区民同士の環境コミュニティを促す取組を行いました。	
エ	朱雀第三	H29年8月4日~ H29年11月27日	自治会館の照明の LED 化と電気使用量の見える化を実施し、省エネ活動の意識を高めました。	
コ学区スニ	八瀬	H29年8月27日~ H29年11月27日	子ども達が環境学習できる仕組みとして、小水力発電学習教材を設置し、環境啓発を促進する取組を行いました。	
ァップア アップア	鷹峯	H29年7月12日~ H29年9月28日	高齢者の夏のくらしを、地域の「たすけ あい」の力でサポートする取組を行いま した。	
エコ学区ステップアッププログラム	銅駝	H29年6月2日~ H30年2月25日	通りに面するマンションの共有部分を LED 化し、効果を学区内で共有し、環 境意識の向上をさせる取組を行いまし た。	
ラム	南太秦	H29年2月7日~ H30年3月5日	高年齢層の冬のくらしを、地域の「たすけあい」の力でサポートする取組を行いました。	

	名称	学区名	実施期間	内容
	プログラム エコ学区	市原野	H29年9月23日~ H30年1月31日	自分たちの手で小水力発電 機を作成し、学区の行事等 で活用することで、創エネ実 践を促進しました。
	学習プログラ	安寧	H29年6月28日~ H29年8月23日	家庭から二酸化炭素排出量 を削減する取組を実践しまし た。
		久我	H29年10月23日~ H29年12月11日	家庭から二酸化炭素排出量 を削減する取組を実践しまし た。
	ラ用 ム た	銅駝	H29年12月2日~ H30年1月20日	家庭から二酸化炭素排出量 を削減する取組を実践しまし た。

### ◇その他、実施一覧

	名称	実施期間	内容
	ブ啓学  発習 ス 会	61学区実施	4,549 名(大人1,528 名、子ども3,021名) の参加がありました。 学区のご要望に合わせた様々なテーマで実施しました。
	担	H29年12月15日	「地域を活性化させる環境活動とは?」 をテーマに、松尾学区、鷹峯学区の取 組をお話いただきました。(24 名参加)
	い手セミナー	H30年1月16日	「持続可能にするために、若手をまきこむ」 をテーマに、豊園学区、室町学区の取組 をお話いただきました。(20名参加)
		H30年2月16日	「エコ学区のこれから」をテーマに、元 町学区、KESC 事業者の取組をお話い ただきました。(17 名参加)

### ◇コーディネーター派遣実施一覧

実施日	学区	場所	内 容
6月7日 6月19日	市原野	大神宮社	小水力発電量調査と 活用提案
6月19日	八瀬	八瀬野外 保育センター	小水力発電量調査と 活用提案
12月8日 1月25日	八瀬	学区内の河川	小水力発電量調査と 活用要望可能性報告
12月6日 1月25日	太秦	笑顔ランド太秦	太陽光発電量調査と 活用要望可能性報告
2月26日	菊浜	高瀬川	小水力発電量調査

が育って行く様は頼もしい限りです。

ん達がどんどんスキルアップ

また、エコ活動を通して、若い委員さ

チャレンジする事が出来ました。

コについて学び、始末する心等に楽しく

遣し、発電設備の設置方法や、導入 門家とコーディネーターを各7 再生可能エネルギー

可能エネルギーを活用した発電事業 地域住民の合意形成をはじめ、 能エネルギー利用設備を設置しよう太陽光発電や小水力発電など再生可 に関する調査や事業化の検討等を とする意欲的な取組を支援するため、

エコ活動を通して、絆作り・人育て るべく「クー 豊園学区が「エコ学区宣言」 エコ推進委員会の活動目的を「地 絆が深まり、地域力もアップ

ーになって頂きました。

道に継続」「子どもに伝える」「人育て」 継続的に実施しています。そして、 もったいない」の四つにしました。 リメイク」「うちわのリメイク」等を、 これらを洛央小学校の子ども達に伝え ルネック作り」「缶バッジ 同じ時間を共有し、

ら地域を担って行ってく 本格的な活動をスター 区宣言」をし、 れるであろう若い人に声 しました。まず、これか 平成25年秋に「エコ学 翌年から、

豊園エコ推進委員会委員長 冨江さゆりさん

**江温業務**「おった」

「おった」

「カート

市原野学区の大神宮社の境内を流れる水路を利用した水車を製作する様子。LED ランプで境内を照らし、市原野学区の防災や夜間の安全対策に活用する エコ学区に係る学習会等支援業務

## 市民協働発電制度 地域コミュニティ版支援コーディネーター派遣業務

ついてワンストップサービスの

設し、地域ぐるみのエコ活動に

相談窓口として対応しました。

した222

コ学区サポートセンター」

を開

京エコロジーセンターに「エ

を目指しています。

**减を地域ぐるみで実現すること** 



桂東学区 学習会の様子



京都環境賞にエコ学区活動が表彰される様子

区を単位とする地域コミュニ ライフスタイルの変換と、 ティにおけるエコ活動を促進す 部門での温室効果ガス排出量削 京都市との協働により、元学

のある学区でのエコ活動の促進 する啓発資料「エコ学区かいら みのエコ活動を促進しました。 多彩な支援を通じて、 に努めました。結果として、延 性を活かしたエコ活動の知識の の直接アプローチを行い、 んばん」を年2回発行し、 64学区において左記のプログ また、学区のエコ活動を紹介 省エネ体験会実施等、 地域ぐる 関心

回を超える学区へのヒアリング

23

やエコ活動の現場取材、

# 地域活動にエコ活動を促進させる学習会

地域環境支援事業

境保全活動の推進」

を演題にセ

ました

とした国内外での環境教育・環

意見交換を 参加者との 発表を行い 動に関する 環境教育活 民参加型の

「京エコロジーセンター

-を拠点

中環境保護ハイレベルセミナ 保全センターで開催された、日 7年6月に北京の日中友好環境

ェクトへの協力として、

2 0 1

めている市 ンタ

ーで進

中国で実施されているプロジ

国

へ出席し、その分科会において



## 国際事業

# ザンビーク)から受け入れ、 づくりプロジェクト(マレーシア)低炭素社会実現に向けた人・コミュニティ か国(アンゴラ、ブラジル、 JICA草の根技術協力事業

ンダリ 推進する人材育成の支援を3ヶ 素教育の実施の支援や、学校を の環境活動の支援、環境活動を る中学・高校に相当)での低炭 に焦点を置き、 や地域コミュニティ単位の活動 る持続可能な低炭素社会を目指 した段階的な低炭素教育の実施 心とした地域コミュニティで ースク・ 小学校及びセカ ル(日本におけ

> 訪日研修を2 現地関係者の 家派遣を4回 た。また、一 回実施しまし

成果報告会を 般公開の中間

開催しました。

る2017年度は現地への専門

す。プロジェクトの3年目とな年のプロジェクトで行っていま

活動についての会議の様子

現地ステークホルダーとのコミュニティ

修を行い、

それに引き続き8月

ウロ市での取組について学ぶ研 研修として、ブラジル国サンパ

初めての試みとなる在外補完

関係

「廃棄物管理能力向上(応用、計画・政策編)」

JICA課題別研修

25

管理の計画や実施に関わる政府

の解決に有効な政策的・技術的

員が自国の直面する廃棄物問題

などの講義や実習を通じ、 りや市民啓発のための環境教育 減量を進めるための仕組みづく 組織間の連携、市民と共にごみ 棄物の適正な管理や処理、

研修

の研修を実施しました。廃棄物 末より約2か月にわたる訪日で

や地方行政等の担当者10名を3

廃モ

務に学びを活かすことができる

知識を習得し、自国での担当業

ように研修を行いました。

イスカンダル開発地域におけ

国際事業のその他の取組と

特定非営利活動法人ア

環境教育リ

-ダー養成研修(都市型環境教育)

その他国際事業

JICA日系研修員

より2名の日系研修員を約1か

ントレプレナー

シップ開発セ

南米(ペルー、

ブラジル)

JICA日系研修員 カンピナス大学 生物学部修士 上野ヴァネッサ歩美さん

市民や行政と協働して色々な 教育について研修を受けまし 京エコロジーセンターで環境 2018年1 イベントや取り組みを行って いる事も学びました。 エコロジーセンターでは - CA日系研修員として 月から1ヵ月間、

JICA日系研修員 環境教育プログラム実践の様子

を以て社会に貢献できる次世 広い視野と分かち合いの精神 化や価値観を理解・共有し、 ンターが主催する「異なる文

目的に実施されている「若手

-ダーを育成する事」

を

シャルリーダー

-育成・交

「環境を保存する」という市 は、 践しました。現在ブラジルで 民の意識を高める必要があり のごみが年々増える問題を目 得た知識を、現地の市民、 都のように、ブラジルの公的 るべきであると思います。 から環境保存の重要度を教え ます。そのためには、幼い頃 にしています。この問題には に子ども達に伝えることを実 多量の特にプラスチッ **- ダー育成研修コースで** 特

海外からの観光客に対するインタビューの様子

JICA日系研修員

分科会で発表している様子

機関の支援を得て、ごみとそ こから出される汚染物質の減

> 望ましいと思います。 少に向けた取組を進める事が

て、ごみ箱を作成しました。 協力を得て市内の日本語学校 ウロ州スザノ市環境事務局の ども向けの環境教育プログラ ついて学んだ後、生徒達と共 ました。プラスチックごみに で子ども達に体験してもらい ムを、私が住んでいるサンパ 研修中に学び企画した、 ペットボトルを再利用

立学校の科目として導入する すことができると思います。 とによって、大きな結果をだ の色々な小さな対策をとるこ 使用を減らすことなど、 することによって自家用 ことや、公共交通機関を使用 行われていない環境教育を公 ごみの減少への対策や現在は と長期間の目標を立てること も大切であります。例えば、 は、環境保全に関する中期間 市民の意識を変えるために これからも、京エコロジー 日々 軍の

環境にやさしい社会構築プロジェクト支援

活動について学びま

寄せる市民参画の活動や環境

日本における職場体験だけで 約1か月間受け入れました。 アからのインターン生を1名、 問題に関心の高いインドネシ 流事業」の一環として、環境

ブラジルに帰国後、環境教

インターン生が関心を

JICA日中友好環境保全センター

の最終成果報告会を行いました。 館者へ向けての実践や一般公開 グラムを企画し、実際に一般来 実習の一環として環境学習プロ れるように研修を行いました。 る環境活動を進める視点を得ら けでなく、市民参画や協働によ じて、環境教育の知識と技術だ におけるOJT形式の実習を通 月間受け入れました。センター

ます。どうもありがとうござ のために働きたいと思ってい 識を高めながら、 センターで学んだ事を基に知 いました! 地域の市民

### ◇講師派遣実績一覧

実施日	事業名	主催	
6月23日	JICA 課題別研修エネルギーの高効率利用と省エネの推進(D)」にかかる研修への講師派遣	一般財団法人 省エネルギーセンター	
7月7日	JICA草の根技術協力事業湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト」にかかる訪日研修への講師派遣	公益財団法人 淡海環境保全財団	
7月28日	夏休みエコ教室「手作り風力 発電機で LED 電球をともそ う」への講師派遣	京都生協北ブロック ほっこりこみゅにてい	
9月28日	第 48 回京都消費者大会へ の講師派遣	特定非営利活動法人 コンシューマーズ京都	
10月4日~ 10月25日	京都教育大学「環境教育論 II - 実践編・」の企画運営 *履修登録者不足のため 途中で閉講	国立大学法人京都教育大学	
10月20日	「日中都市廃棄物減量化 政策研究ワークショップ 於:中国・青島市」への 講師派遣	青島市 龍谷大学他	
10月26日 11月1日 11月28日	「洛西地域における生物多様性の取組に係るワークショップ」 企画運営	京都市西京区洛西支所	
10月28日 10月29日	ボランティアコーディネーション力2級直前研修への講師 派遣*職員が検定試験委員として参画	特定非営利活動法人日本 ボランティアコーディネー ター協会	

出前講座・講師派遣事業では、他団体が主催するセミナーやシンポジウム等に職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーション等、これまで協会が培ってきたノウハウをもとに、依頼元の要望にあわせた講演や事例発表を行いました。平成29年度は13件の出前講座・講師派遣を行いました。

実施日	事業名	主催
10月28日 11月27日	奈良文化財研究所「平城宮 跡解説ボランティア基礎研 修」への講師派遣	独立行政法人国立文化財 機構 奈良文化財研究所
11月24日	JICA 課題別研修「博物館とコミュニティ開発」コースへの講師派遣	国立民族学博物館
2月12日	JICA 課題別研修「総合的な廃棄物管理(全般)(E)」にかかる研修への講師派遣	特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民 の会
3月6日	JCL 外国語学院留学生向け 研修への講師派遣	JCL 外国語学院
3月10日	イオンチアーズクラブ京滋奈 良和歌山地区予選会への審 査員派遣	主催: イオンリテール株式 会社近畿・北陸カンパニー

### ◇講座等の企画実施 実績一覧 (共催事業含む)

実施日	事業名	主催
5月11日 6月3日	祇園祭ごみゼロ大作戦 2017 ボランティアリーダー育成研修	一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦
6月23日	京都からつながる SDGs シンポ ジウム〜だれも取り残さない社 会のつくり方〜	主催: 京のアジェンダ 21 フォーラム 共催: 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 後援: 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
9月30日	ト 大育フォーラム in 京都	主催: 京都・木育はぐくみ委員会 共催: 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 ほか
10月1日	木育こども縁日 in 壬生寺	主催: 京都・木育はぐくみ委員会 共催: 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 ほか
5月~12月 (祭典当日) 11月11日 11月12日	第 22 回「青少年のための科学 の祭典~未来をつくるサイエン ス&エコ~」実行委員会への 参画	主催:「青少年のための科学の祭典」京都大会 実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、青少年と科学の会
11月18日~ 11月26日	大政奉還 150 周年&京都議定書誕生 20 周年記念「地球温暖化防止展 in 二条城」	主催:京都市 企画実施:公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
3月1日	SDGs パブリックフォーラム in 京都「SDGs で描く京の未来」	実行委員会 構成団体:京のアジェンダ21フォーラム、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク、特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、特定非営利活動法人関西NGO協議会、特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク、ODA改革ネットワーク九州(順不同)

協会の多様なパートナーとの共催で、多様な がウムを開催する等、社会の関心やニーズに合 がウムを開催する等、社会の関心やニーズに合 をデーマのセミナー・研修・イベント等を企画し、 ので、多様なパートナーとの共催で、多様な

# (セミナー・研修・イベント等)講座の企画実施

講師派遣事業出前講座•



夏休みエコ教室「手作り風力発電機で LED 電球をともそう」の様子。環境学習施設等に職員を派遣し、依頼主の要望に合わせた講演を実施する

### 出前講座·講師派遣事業



夏休みエコ教室 制作の様子。依頼主「ほっこりこみゅにてぃ」の要望に合わせた学習会を実施する

研究」講習の様子。講師派遣を行い、他団体が主催するセミナーやシンポジウムの実施の協力をする

「低園宗ごみゼロ人作戦 2017 ホランティアリーダー育成研修」の様子。祇園祭で出るごみを減らす取組のリーダーを育成するプログラムを企画、実施する



「KYOTO+20」大学生がパネル展示を説明する様子

きっかけとして、パナソニック可能な運営体制を築くための したが、残念ながら不採択となに特化した助成金)に応募しま の実施するNPOサポートファ (NPO等の組織基盤強化

協会プロモーション・ファンドレイジング 協会の組織基盤を固め、持続

た計画づくりのための情報収集 課題であるため、次年度に向け 基盤強化に向けた取組は喫緊の 活用できる助成金情報の調

ムページの内

## 指す京都宣言」を発信しまし続可能な都市文明の構築を目 クレイ日本と共に開催し、「持 境学研究所・一般社団法人イ 人人間文化研究機構総合地球環 京都市·大学共同利用機関法 るべき姿」の実現に向け、

「2050年の世界の都市のあた。宣言の中で描かれている

地球環境京都会議2017(KYOTO+20)京都議定書誕生20周年記念 境ソーシャル・キャピタルの醸成化するためのプログラム開発や、E ネジメントや地域活動支援のノウハ設運営・環境教育・ボランティアマ 向上を目指すための情報発信を行い ウ等の資源をソ シャル・ビジネス

協会がこれまで蓄積してきた、



「ワンワールドフェスティバル」出展。 談笑の様子

### ◇調査・研究・開発・発信事業 実施一覧

		<del>76</del>
実施日	事業名	主催
9月2日 9月3日	日本環境教育学会第 28 回大会への参加と 口頭発表 (ボランティア事業にかかる実践報告、 及び国際事業マレーシアでのプロジェクトの 実践報告)	主催:日本環境教育学会
9月~通年	日本環境教育学会プロジェクト研究 「学校環境教育プロジェクト」への参画	日本環境教育学会プロジェクト研究「学校環境教育プロジェクト」
11月18日~ 11月20日	清里ミーティング 2017 への 参加・事例発表	主催:公益社団法人日本環境教育フォーラム
12月10日	京都議定書誕生 20 周年記念 地球環境京都会議 2017 (KYOTO+20) 第 3 分科会の運営	主催: 京都市 共催: 大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所、 一般社団法人イクレイ日本、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 後援: 環境省、外務省、京都府、京都商工会議所
2月3日 2月4日	ワン・ワールド・フェスティバルへの出展	主催: ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
3月20日 3月21日	気候変化対応に向けた 韓日国際交流のワークショップ(於:韓国原州市) への参加	主催:原州持続可能発展協議会参加団体:原州環境運動連合、韓国環境展示館ネットワーク、原州市、各地方の持続可能発展協議会、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会



持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言を発信した「KYOTO+20」の様子。 協会事業において実践するとともに、世界に発信する

### 調查•研究•開発•発信事業



日本環境教育学会での発表の様子

「KYOTO+20」パネル展示の様子

「ワンワールドフェスティバル」出展の様子

センターの管理・運営等の事業を通し、 これまで様々な経験やノウハウを蓄積してきました。

それらの積み重ねとスタッフそれぞれのスキルを活かして、当協会は皆様の環境学習・環境保全活動に 関する多様なニーズにお応えします。







当協会は経験豊富な講師の派遣 事業を行っています。環境を切り 口にした講座やワークショップの ほか、セミナーやシンポジウム等 に職員を派遣し、環境学習・環境 保全活動の場づくりのお手伝いを します。

当協会の事業経験・ノウハウを活かしたコンサルテーションも行っ ています。環境学習施設の運営や展示の開発、環境団体等の市民活動 団体の支援やネットワーク化、ボランティア制度をはじめとする市民 参画の仕組みづくり等、対応できる内容は多岐にわたります。

### 問合せ・申込方法

貴社名・ご担当者名・電話番号・メールアドレス・お問い合わせ 内容を明記の上、HPもしくは電話・直接来館にて承ります。







## 公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会 HP

様々な情報発信をホームページから行っています。 是非、アクセスしてみてください。







### 自然や環境を体感して、生きもののことを考える

### 生物多様性のまち・洛西 生物多様性保全に向けた取組

をおこないました。

近年、

生物多様性の保全

が喫緊の課題となっていま 暖化にともなう環境の変化 様性プランを策定し、 ります。京都市では生物多 性を取り巻く課題は様々あ 生物の減少など、生物多様 伝統文化を育んできた固有 様性保全に向けた取組を による生態系の 京都においても地球温 その一環とし の荒廃、 外来



小畑川に生息している生きものを観察・採取する様子

関係や生息環境との関係を

るので、必要な存在とわか

りました」「生きものにつ

な授業をもっとやりたいで

参加した子ども達が地域」などの声がありました。

いと思いました。同じよう いてもっといろいろ知りた

種類と数から、 の関係について体験的に学 の2地点で生きものを採集 面コンクリ は自然植生が残る上流と三 採集された生きものの ト張りの下流 生息環境と

小畑川 のにとって大事な食料にな 食べられるけど強い生きも のつながりを知りました」 を終えた子どもからは めるために自分たちに出来 ることを考えました。学習 弱い生きものは、 した「い すぐに

ロジーセンター、

京都市 京の

②紙の使用量の削減

ントシステム)に京エコ らKES(環境マネジメ

①エネルギ 【取組項目】

ーの削減

アジェンダ21フォーラム

⑤生物多様性

ごみ減量推進会議、

③環境啓発





# **允電設備管理業務**

電気自動車の普及・啓発のため 目動車の普及促進を図る 社会の実現に向けて電気 CO2の削減と低炭素



作方法の説明を行いまれ

充電設備の利用で

全3回のワ

ークショップを

自然観察に出発する様子

然共生社会を切り口とした

て知る貴重な機会を提供す の自然や生物多様性につい

はじめに京都

京エコロジーセンター内に設置された 電気自動車充電設備(30分無料)

## 2003年2月1日 ステップ2登録

2017年度は以下 目に取り組みました。 減に努力します。」の下、を挙げて環境負荷の低 ことを認識し、 重要課題の一 境の保全が人類共通の最 基本理念「京エコロ ーセンターは、地球環 つである 全組織

# KES(環境マネジメントシステム) 取組

### 中長期計画

**— 協会が目指すもの —** 

環境に配慮した 市民の自主的な行動による 地域社会づくりに寄与すること。

そ<mark>のた</mark>めの ミッショ<mark>ン・ビジ</mark>ョンに 基づく<mark>事業取組</mark>と 主な方向<mark>性の</mark>関連一覧

事業	主な方向性
(1) 環境意識の普及、啓発に関する事業	①地域社会との連携を深める
(2) 環境情報の発信事業	⑥発信力の強化
(3) 環境保全に関する調査、研究に関する事業	⑤環境学習ツール・プログラム開発力の強化
(4) 環境教育及び人材育成に関する事業	③人材育成
(5) 環境保全のための市民、事業者等との連携、支援に関する事業	②パートナーシップをこれまで以上に
(6) 環境意識の向上のための国際的な連携、支援に関する事業	①地域社会との連携を深める
(7) 環境保全活動に関する施設の管理運営	⑤環境学習ツール・プログラム開発力の強化
(8) その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業	

### 6 発信

### 発信力の強化

### 【達成目標】

センター事業はもちろん、それを包括して「協会」としての事業や業績を広く周知するための体制 (人、ソフト、ハードなど) が整っており、効果的な情報発信(必要な人に、必要なタイミングで、必要な量と質の情報を、発信) ができている。これにより、協会としての新たな事業連携先や顧客になり得るところに情報が発信され、関係性が構築されている。

### 環境学習ツール・プログラム開発力 の強化

### 【達成目標】

プログラム開発にあたっては社会のニーズや対象者の発達段階を踏まえ、魅力あるテーマ・内容のプログラムを開発し、実施している。また地域へのアウトリーチを促進し、地域における人材育成を進めるために、環境分野だけでなく様々な団体とのパートナーシップにより、それぞれの地域や対象にあったモデルプログラムを開発し、実施している。

### 地域社会との 連携を深める

### 【達成目標】

協会は様々なテーマ・関わり方で、地域で活躍する団体との協力関係をつくり、地域社会の特徴・生活圏・課題に沿った各地域拠点での主体的な「環境に配慮した地域活動」が、モデルとして実験され継続実施している。

2020

達成目標 第1フェーズ

### 京都における 環境保全活動・ 環境教育のノウハウを 全国・世界へ波及

### 【達成目標】

京都におけるパートナーシップによる気候変動対策・都市型環境教育推進をはじめとした様々なローカルモデルが日本国内の他の地域だけでなく、アジアをはじめとした世界でも展開されている(少なくとも1か国以上での展開)。協会はそのコーディネートの中核として、京都の各種団体のノウハウを活かし、世界へ発信する役割を担っている。

### **2** パートナーシップを これまで以上に

### 【達成目標】

協会の様々な事業が、パートナーシップ型で推進され、多くのパートナーとの関係性が構築されている。また、組織の経営・運営にもかかる新しいパートナーシップ型のモデルができている。

### 人材育成

### 【達成目標)

協会は、人材育成のステップ「知っている人→伝える人・動く人→動かす人・つなぐ人・しかける人」のなかで、ボランティア事業としては「知っている人」、「伝える人・動く人」を育てることを重点化している。また、地域において「動かす人・つなぐ人・しかける人」の人材育成を図るため、必要なプログラムを整えている。

### 発信力の強化

### 【達成目標】

「情報を発信する」ことで、様々な人・組織の共感・信頼を得て、その協力の中で、より質の高い事業を展開することができている。 (新たな事業分野に取り組むことができている。/これにより、財源の多様化が進み、協会の自立性が高まっている。)

### **5** 環境学習ツール・ プログラム開発力 の強化

### 【達成目標

2020年に引き続き、社会のニーズや対象者の発達段階をふまえ、魅力あるテーマ・内容のプログラムを開発し、実施している。また地域へのアウトリーチを促進し、地域における人材育成をより進めるために、これまで以上に幅広い対象にあわせたモデルプログラムを開発し、実施する。さらに開発・実施の名で得たノウハウを京都内外へ広く発信することで対価を得ることにつなげる。

### 地域社会との 連携を深める

### 【達成目標

協会が様々なテーマ・関わり方で、地域で活躍する団体との協力関係をつくり、地域社会の特徴・生活圏・課題に沿った各地域拠点での主体的な「環境に配慮した地域活動」をつくるノウハウが、京都市以外にも提供できるようになっている。

2025

達成目標 第2フェーズ

### 京都における 環境保全活動・ 環境教育のノウハウを 全国・世界へ波及

### 【達成目標】

京都の環境保全活動・環境教育のノウハウが協会において整理され、協会を通じて国内外で応用できる体制が整っており、アジアをはじめとする世界からも注目される存在となっている。

### 2パートナーシップをこれまで以上に

### 【達成目標

環境分野の活動における中間支援組織の役割を担っており、様々な主体を適切につなぎ、パートナーシップ型の事業展開を支援している。これにより、京都の中での様々なパートナー同士のネットワークを形成し、京都の環境ソーシャルキャピタルを醸成・向上させる役割を担っている。

### 3 人材育成

### 【達成目標】

2020年までに整えたプログラムをもとに、「動かす人・つなぐ人・しかける人」を育てるためのモデル事業が複数地域において実施されている。

### 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会事業運営体制

### 評議員会 ◇組織図 理事会 (2018年3月31日現在) 事業運営委員会 事務局 作業部会 小委員会 事業部 総務課 事業第1課 事業第2課 指定管理事業担当 国際事業担当

### ◇役員名簿(敬称略·順不同·2018年3月31日現在)

役 職	氏 名	所属・役職
理事長	高月 紘	京都大学 名誉教授
専務理事	浅野 和子	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
	杦本 育生	特定非営利活動法人 環境市民 代表理事
	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
	橋本 直子	株式会社 Hibana 代表取締役
理事	花田眞理子	大阪産業大学 大学院 人間環境学研究科 教授
	久山喜久雄	フィールドソサイエティー代表
	水山 光春	京都教育大学教授
	松浦 卓也	京都市環境政策局地球温暖化対策室担当部長
	野村 克章	税理士
	村中 俊文	京都市環境政策局環境企画部長

役 職	氏 名	所属・役職
	浅利 美鈴	京都大学 地球環境学堂 准教授
	市川智史	滋賀大学 環境総合研究センター 教授
	土山希美枝	龍谷大学 政策学部 准教授
	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議理事
	永橋 爲介	立命館大学 産業社会学部 教授
評議員	長屋 博久	有限会社 村田堂 取締役
可哦只	原 強	特定非営利活動法人 コンシューマーズ京都 理事長
	山元 新司	株式会社京都銀行公務・地域連携部地域活性化室長
	粂 善子	有限会社 思風都 代表取締役会長
	周 瑋生	立命館大学 政策科学部 教授
	田中克	京都大学名誉教授
	森元 正純	京都市環境政策局地球温暖化対策室長

### ◇事業運営委員名簿 (敬称略·順不同·2018年3月31日現在)

氏 名	所属
荒川 佳夫	京エコロジーセンター環境ボランティア (京エコサポーター)
伊東 真吾	一般社団法人市民エネルギー京都
井上和彦	京のアジェンダ 21 フォーラム
奥田 良子	京都市地域女性連合会
木原 浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター
杦本 育生	特定非営利活動法人環境市民
田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク

氏	名	所属
高月	紘	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
中尾雅幸		宝酒造株式会社環境広報部環境課
中田富士男		京都市ごみ減量推進会議
長畑 和典		特定非営利活動法人 KES 環境機構
長屋 博久		有限会社 村田堂
原	強	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都
久山喜久雄		フィールドソサイエティー
	高月中田富長屋原	中尾雅幸 中田富士男 長畑 和典 長屋 博久 原 強

氏 名	所属
藤野 正弘	特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド
水山 光春	京都教育大学
守屋ひとみ	京エコロジーセンター環境ボランティア
八代 康弘	京都市環境政策局循環型社会推進部 ごみ減量推進課
赤塚 太朗	京都市環境政策局地球温暖化対策室

### ◇職員名簿 (順不同·2018年3月31日現在)

役 職	氏 名
理事長	高月 紘
事務局長	浅野 和子
事業部長 (事業第2課長事務取扱)	谷内口 友寛
事業第1課長 (国際事業担当課長兼務)	新堀 春輔
エコセン担当課長	遠藤 修作
エコセン担当課長補佐	多胡 亮
総務課長	山田 幸司

役職		氏	名	
事業第1課職員	佐崎 由佳	澤田 雄喜	吉田 隆真	竹内 真道
	青山 真弓	杉本 功太	山内淳	笠井 咲希
	冨田 知未	小池 秀機	永田 裕寿	西垣 智恵
	杉本 優子	_	_	_
事業第2課職員	大原 克巳	山植 剛	大丸 洋一	高瀬まどか
総務課職員	川渕 学	小畠 修平	網谷 翼	松岡 晃弘

(理事長1名·事務局長1名·事業部職員21人·総務課職員5人)

### ◇地域プログラム作業部会委員名簿 (敬称略·50音順·2018年3月31日現在)

氏 名	所属
大関はるか	有限会社ひのでやエコライフ研究所
木原 浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター
長屋 博久	有限会社村田堂
新川 達郎	同志社大学大学院

暑で、

自然災害も多く発生しま

未来が、残念ながら現実のものした。20年前に予測されていた

ずですが、現状ではこれが実感

氏 名	所 属
原 強	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都
広瀬 和代	特定非営利活動法人気候ネットワーク
山本和仁	京エコロジーセンター環境ボランティア (京エコサポーター)

が必要』と考える人は決して少

『温暖化対策をするのには我慢

敷居が高い』と感じる人

一本では、

『環境問題が難し

なくないようです。

2017 年度、事業運営委員会 に作業部会を設置し、地域の実 情を踏まえた「課題解決につな

がる具体的なプログラム」を試行・検証しました。

# 暮らしと世界を繋げて語れる存在でありた の語

V

ここに大きな課題があります。 を持って捉えられていません。

8年の夏は記録的な猛

特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議 木原 浩貴さん

続可能な社会づくりは、実際に す。 は暮らしに豊かさをもたらすは な枠組みで語ってしまうと、そわせ「地球のため」という大き となりつつあり、焦りが募りま ら切り離されてしまいます。 しか リーは暮らしや社会か 地球環境に焦点を合 持

全とが、実は同じ方向で連続しらしの豊かさ創出と地球環境保 動する専門家との人脈を併せ持で培った地域の人脈と、長年活 ために不可欠です。 先の社会変化の受容度を高める るようにしていくことが、この 功事例を数多く作って実感でき ているということを、 つことだと思います。 協会の強みは、エコ学区事業 そして、 小さな成 日々の暮



す 期待しています。また自分も広 な役割であると強く感じていま れは協会だからこそできる重要 協会の活動のさらなる充実に

微力を尽くしたいと思います い意味での協会の一員として、



特定非営利活動法人 気候ネットワーク 広瀬 和代さん

で生活に浸透されていくものと 性を活かし、

るとき、 出し合い、考え出されたひと工 ために、みんなでアイディアを ることがあります。課題解決の 実践に向けて取り組もうとす 時には課題が見えてく

私はそういった学びを地域の特 プログラムが提供されています。 楽しく、工夫を凝らした様々な 境問題を学ぶ、広げる場として 京エコロジー センターでは環

地域のチカラは無限大

一の声

何か工夫すること がっていくのではないかと感じ 作業部会では、

真剣で、楽しそうに見えます。ました。皆さんの表情を見ると、 活と環境問題が普遍的な関係で あり続けて欲しいと願っていま た事例に多々触れることができ 人びとの心の中で、豊かな生 工夫を凝らし 生活の質の向上や、豊かさに繋 それは、人びとの財産となり、 につながるのだと感じています。夫こそが「快適で豊かな生活」



地域プログラム作業部会の様子

### 編集·発行方針

### 「持続可能な地域社会」を目指して

公益財団法人京都市環境保全活動推進協会は、2001年2月に設立されました。協会は現在、 京都市の環境学習施設である京エコロジーセンターの指定管理者等の活動を通して、様々な 主体とのパートナーシップにより「持続可能な地域社会」を目指して、事業運営を行ってい

本報告書は多くの方々に事業の内容や、その果たす役割、成果をわかりやすく理解いただ くためのツールとして作成しております。

公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 事業報告書 2017年度

2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)の事業を中

心に、過年度からの継続的な事業や次年度に向けた事業、将

来の見通し・予定などについて記載しています。

•発 行 日 2018年9月

·発 行 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会





### インフォメーション

●住 所 ₹612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター内

**2**075-641-0911 FAX 075-641-0912

京エコロジーセンター(京都市環境保全活動センター)

- 9時~21時(1・2階展示は17時まで)
- ●休館日 木曜日(祝日の場合は翌平日)
- ●アクセス 【京阪電車】 藤森駅:下車、西へ徒歩約5分 【地下鉄・近鉄】 竹田駅:下車、東へ徒歩約12分 【市バス】 105・南5・臨南5・南8

「青少年科学センター前」下車、南へ徒歩約2分



### 本報告書に掲載した情報以外にも様々な情報を発信しています。

●京エコロジーセンターWEBサイト ブログも是非ご覧ください

●京エコロジーセンターFacebook

●京エコロジーセンターTwitter

https://www.miyako-eco.jp https://www.miyako-eco.jp/blog/



@miyako\_eco

### 2017年度まとめ

2017年は世界の年平均気温が観測史上3番目に高い 値(気象庁発表)となり、地球温暖化による海面上昇や 異常気象に起因する災害が頻発するなど、待ったなしの 状態が続いています。京都議定書の採択から20年目の 節目の年であり、12月には京都市等と共に「持続可能 な都市文明の構築を目指す京都宣言 | を発信し、2050 年の世界の都市のあるべき姿と、パリ協定で明記された 「今世紀後半に CO<sub>2</sub> 排出を実質ゼロにする」の実現に向 け、日々邁進していきます。

地球温暖化防止京都会議(COP3)の開催記念館で ある京エコロジーセンターも、15周年を迎えました。 2002年度の開館から管理運営を行ってきた当協会は、 4年に1度の選定委員会の評価を経て、2020年度まで の指定管理者として選定されています。本報告書の京工 コロジーセンター指定管理業務については、エコメイト・ 京エコサポーター・多くの先達に支えられた 15 年間の 集大成であります。今後も、京都市の環境保全活動施策 の中枢を担う施設として位置づけられたセンターを拠点 に、持続可能社会を構築する「担い手」を育成していき ます。

また、地球温暖化対策だけでなく、ESD や SDGs ほか 様々な社会課題の解決などにも視野を広げ、地域環境活 動支援事業や国際事業などの業務拡大も行いながら、持 続可能な法人運営を目指していきます。今後とも、ご指 導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

### 京都宣言

### 「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」

2017年12月10日、京都議定書誕生20周年を記念して開催した「地球環境京都会議 2017 | において、世界 18 箇国・地域から約 1,000 名の方々の御参加の下、パリ協定が掲げる今世紀 後半の温室効果ガスの実質排出ゼロの実現に向けて、温室効果ガスの大排出源である都市の責 務を示した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」を発表しました。

地球規模での温暖化対策を促進し、恵み豊かな地球環境を未来に引き継いでいくため、 まずは私たち一人ひとりが、この宣言の理念を踏まえた取組を率先して実践していきましょう。

### 2050年の世界の都市のあるべき姿

- ●生命の源であり炭素吸収源でもある自然との共生が実 現している。
- ●ものを大切にする「もったいない」、「しまつ」の精神 などに基づく生活文化の再構築により、市民の価値観 やライフスタイルの転換が進んでいる。
- ●環境教育・学習の促進により、さまざまな問題を自分 自身の問題として捉え、自ら行動し、持続可能社会を 構築する「担い手」が育成されている。
- ●脱炭素化に貢献する技術革新と同時に、気候変動によ る影響への適応策が十分に進んでいる。

- 廃棄物に含まれる有用金属等を再資源化する「都市鉱 山」の活用などにより、循環型社会が構築されている。
- ●省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利用が飛 躍的に拡大し、都市によるエネルギー自治が実現して

都市交通システムの高度化により、環境負荷の低減と

● 利便性の向上が両立している。

持続可能な社会の実現に向けた取組が貧困や格差など の社会問題の平和的解決に貢献している。

宣言全文はホームページに掲載

京都市情報館 http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000229986.html







## 公益財団法人

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 ☎ 075-641-0911 FAX 075-641-0912







- ●用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙 ●インキ:大豆油インキを含む植物油インキ ●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷